

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	男女共同参画推進事業			事業番号	18-101-1
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	市民生活部	齋藤 浩人	人権・広聴相談課	池田 まゆみ	

計 画 (Plan)

総合計画体系	安心力	まちづくり目標	2	地域で助け合う安全で安心なまち	
		基本政策	5	暮らしの安心がひろがるまちづくり	
		施策展開の方向	2	一人ひとりが大切にされるまちをつくる	
		施策	18	互いに尊重し合うまちづくりの推進	
予算事業名	男女共同参画推進事業費		男女共同参画計画策定事業費		
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	努力義務規定がある	
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前	～	終了年度	-
関連法令等	男女共同参画社会基本法、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律				
国・県の計画等	(国)第3次男女共同参画基本計画、(県)かながわ男女共同参画推進プラン(第3次)		計画期間	(国)平成23年度～27年度、(県)平成25年度～29年度	
関連個別計画	いせはら男女共同参画プラン(改訂版)		計画期間	平成25年度～平成29年度	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	家族形態の多様化や社会状況の変化に対応するため、男女がともに社会に参画し、対等なパートナーとして、支え合う社会づくりが求められています。				
目的 (何をどうしたいのか)	伊勢原市における男女共同参画社会を形成するため、伊勢原市男女共同参画プランに基づき、施策・事業を推進します。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民				
事業内容 (手段、手法など)	・男女共同参画プラン(改訂版)の策定から5年を経過する平成29年度には(仮称)第二次男女共同参画プラン策定作業を行い、併せて、男女共同参画推進委員会とともに男女共同参画フォーラムの実施や、講座の充実を図り、男女共同参画の継続的な啓発を行います。				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	男女共同参画プランの推進・進行管理	推進・進行管理	次期プラン検討		
	啓発事業	継続実施	継続実施		
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
	男女共同参画フォーラム及び啓発講座等の参加者数		28年度	29年度	
		380人	390人	420人	



事業実施(Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	市民で組織する「伊勢原市男女共同参画推進委員会」による「伊勢原市男女共同参画プラン(改訂版)」の点検評価のもとに、市民に男女共同参画の理解を深めてもらえるよう、さらなる周知を目指します。また、(仮称)第2次伊勢原市男女共同参画プランの策定を進めます。			
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外			
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者	
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先	
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容	
実施結果	項目	年度		
		28年度	29年度	
	男女共同参画プランの推進・進行管理	推進・進行管理	推進・進行管理	
	啓発事業	継続管理	継続管理	
実施した取組の内容	・男女共同参画フォーラムの実施 ・伊勢原市男女共同参画推進委員会の運営 ・男女共同参画啓発講座の実施 ・啓発誌の発行 ・男女共同参画プランの進行管理 ・次期プランの策定作業			
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度	
			28年度	29年度
	男女共同参画フォーラム及び啓発講座等の参加者数	380人	455人	548人

コスト	年度		28年度 実績				29年度 実績			
	事業費合計 (a)		1,578		千円	714		千円		
	内訳	国県支出金 ①	0		千円	0		千円		
		地方債 ②	0		千円	0		千円		
		その他特財 ③	0		千円	0		千円		
		一般財源 (a)-①-②-③	1,578		千円	714		千円		
	国県支出金の内容									
	その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期					
		その他								
	人件費	正規職員	0.50	人	4,325 千円		0.50	人	4,365 千円	
		その他の職員	0.00	人	0 千円		0.00	人	0 千円	
		人件費合計 (b)	0.50	人	4,325 千円		0.50	人	4,365 千円	
	トータルコスト (a)+(b)		5,903		千円	5,079		千円		
	単位当たりコスト	対象数	定義	市民 単位		市民 単位				
			対象数	101,635 人		102,037 人				
総事業費 / 対象数		58 円		50 円						

評 価 (Check)				
進捗状況 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	指標となっている男女共同参画フォーラム及び啓発講座等の参加人数について、目標を達成することができ、男女共同参画の啓発を行うことができました。
実施水準 [選択・記入]	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市事業内容等	男女共同参画フォーラムをはじめ、啓発講座等の開催回数や内容テーマについては、近隣市と同水準で実施しています。
有効性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	男女共同参画事業において、目標を超える集客を得ることができ、また、さまざまな講座等を実施することにより、より多くの市民に男女共同参画の意識を広めることができました。
効率性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	いろいろな分野の講座を実施することにより、男女共同参画の理解を深めてもらうことができました。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)	
事業推進上の課題	本事業の実施効果を高めるためには、市民に男女共同参画の考え方をより広く周知する必要があります。今後は、平成30年4月に策定された第2次伊勢原市男女共同参画プランを基に、より効果的な事業の実施を検討する必要があります。
次年度以降の取組の方向性	第2次伊勢原市男女共同参画プランに基づき、男女共同参画の理解を深めるための啓発活動を継続して行います。また、市民によって構成された伊勢原市男女共同参画推進委員会によるプランの点検評価を行い、庁内組織である伊勢原市男女共同参画推進会議において施策等の見直しや方向性について協議・検討を行います。
所管部長による総評	啓発事業における目標は達成しており、事業が効果的に実施されています。伊勢原市男女共同参画プランの点検評価により事業の見直しを図ることは、今後の事業展開に有効と考えます。更に、社会状況が多様化し、女性の活躍が望まれる中、男女が対等なパートナーとして社会参画ができる環境づくりに向け、第2次伊勢原市男女共同参画プランに基づき、男女共同参画の継続的な啓発を行う必要があります。